

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	柔道整復学・総論 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	大村 晋司	実務経験と その関連資格	柔道整復師免許、柔道整復師専科教員免許、接骨院開業(現在)			
《授業科目における学習内容》						
柔道整復師の歴史的背景について学び、さらに業務などの沿革について免許制度や法制度がどのように確立されていったか見識を深める。また、柔道整復師が施術対象とする骨折や脱臼、関節損傷、筋損傷、軟骨損傷、神経損傷について理論的に広く学び、柔道整復業務にどのように役立つか考える。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復師学理論編 改定版6版 柔道整復理論実技編改定2版						
《授業外における学習方法》						
インターネットを使つてのアプローチ(小テストや復習など)						
《履修に当たつての留意点》						
柔道整復総論は専科科目であり 国家試験や柔道整復師業務において重要科目である						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	柔道整復師の歴史について理解する	柔道整復師学理 論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習	
		各コマに おける 授業予定	柔道整復師術、柔道整復師の沿革1			
第 2 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	柔道整復師の業の成り立ちについて理解を深める	柔道整復師学理 論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習	
		各コマに おける 授業予定	柔道整復師術、柔道整復師の沿革2			
第 3 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	人体にどのような外力が加わり組織が損傷するのかを理解する	柔道整復師学理 論編改定版6版 解剖学 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用し ての復習	
		各コマに おける 授業予定	前回の復習(小テスト)、人体に加わる力、損傷時に加わる力			
第 4 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	痛みの、評価について学ぶ	柔道整復師学理 論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用し ての復習	
		各コマに おける 授業予定	痛みの基礎			
第 5 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	骨折とはなにか、骨折にはどのような分類がなされるのか学ぶ	柔道整復師学理 論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用し ての復習	
		各コマに おける 授業予定	前回の復習(小テスト)、骨の概説、骨折の分類(の性状による分類、 損傷の程度による分類)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨折線の入り方、開放性骨折、骨折の部位によりどのような特徴があるのかを学ぶ	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用した の復習
		各コマにおける授業予定	骨折の分類(骨折線の方向による分類、折部と創部との交通の有無による分、力の働き方による分類、骨折の部位による分類)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨折ではどのような症状がみられるのか、一般的な症状と固有症状について理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用した の復習
		各コマにおける授業予定	前回の復習(小テスト)、骨折の症状		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨折におこる併発症、続発症、後遺症について時系列でとらえどのようなものがあるか理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 解剖学 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用した の復習
		各コマにおける授業予定	骨折の合併症(併発症、続発症)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨折におこる併発症、続発症、後遺症について時系列でとらえどのようなものがあるか理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用した の復習
		各コマにおける授業予定	前回の復習(小テスト)、骨折の合併症(後遺症)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児の骨折は全く大人の骨折とは違った特徴を持つため、どのような特徴を持つか理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用した の復習
		各コマにおける授業予定	小児の骨折		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の骨折についてその特徴を理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 解剖学 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用した の復習
		各コマにおける授業予定	前回の復習(小テスト)、高齢者の骨折、骨折の癒合日数		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨折はどのように治癒していくのか、その現象を時系列で理解し、組織学的にはどのような変化があるのか学ぶ	柔道整復師学理論編改定版6版 解剖学 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用した の復習
		各コマにおける授業予定	骨折の治癒経過、骨折の予後、骨折の治癒に影響を与える因子		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	関節についてその構成組織について学ぶ	柔道整復師学理論編改定版6版 解剖学 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用した の復習
		各コマにおける授業予定	前回の復習(小テスト)、関節の構造と機能、関節を構成する組織		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	関節損傷とはどのようなものか、そしてどのような組織を損傷するのかを学ぶ	柔道整復師学理論編改定版6版 配布資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用した の復習
		各コマにおける授業予定	関節損傷の概説、関節損傷の分類、損傷される組織、関節構成組織損傷		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	靭帯の治癒機序について、その経過や予後について学ぶ	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用した の復習
		各コマにおける授業予定	前回の復習(小テスト)、関節損傷の分類と症状(損傷の程度による分、靭帯損傷の治癒機、経過と予後)		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	柔道整復学・総論 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	302
担 当 教 員	大村晋司	実務経験と その関連資格	柔道整復師免許、柔道整復師専科教員免許、接骨院開業(現在)			
《授業科目における学習内容》						
柔道整復師の歴史的背景について学び、さらに業務などの沿革について免許制度や法制度がどのように確立されていったか見識を深める。また、柔道整復師が施術対象とする骨折や脱臼、関節損傷、筋損傷、軟骨損傷、神経損傷について理論的に広く学び、柔道整復業務にどのように役立つか考える。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復師学理論編 改定版6版 柔道整復理論実技編改定2版						
《授業外における学習方法》						
インターネットを使つてのアプローチ(小テストや復習など)						
《履修に当たつての留意点》						
柔道整復総論は専科科目であり 国家試験や柔道整復師業務において重要科目である						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	関節軟骨の治癒機序について、なぜ修復が困難なのかを理解する	柔道整復師学理 論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習	
		各コマに おける 授業予定	関節損傷の分類と症状(発生頻度、分類、症状、合併症、軟骨の治癒機序、関節部に分布あるいは通過する神経・血管)			
第 17 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	脱臼とはどのようなものかその発生頻度や分類について学ぶ	柔道整復師学理 論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習	
		各コマに おける 授業予定	前回の小テスト、脱臼の定義と概説、発生頻度、分類			
第 18 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	脱臼の分類について学ぶ	柔道整復師学理 論編改定版6版 解剖学 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用し ての復習	
		各コマに おける 授業予定	脱臼の分類(b~i脱臼の頻度と機序による分類)			
第 19 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	脱臼の症状とくに固有症状について理解する	柔道整復師学理 論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用し ての復習	
		各コマに おける 授業予定	前回の小テスト、脱臼の症状、脱臼の合併症、脱臼の整復障 害			
第 20 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	脱臼の予後について学ぶ。筋の構造について細胞レベルから理解する。	柔道整復師学理 論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用し ての復習	
		各コマに おける 授業予定	脱臼の経過と予後、筋の損傷(筋の構造と機能)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋にまつわる補助装置や筋線維の種類について学ぶ	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用した の復習
		各コマにおける授業予定	前回の復習(小テスト)、筋の補助装置、筋の脈管神経、筋線維の種類、筋損傷を起こす力、		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋損傷の程度や損傷の種類について学ぶ	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用した の復習
		各コマにおける授業予定	筋の性状による分類、筋損傷の程度による分類、筋間損傷と筋内損傷		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋の損傷の症状について学ぶ	柔道整復師学理論編改定版6版 解剖学 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用した の復習
		各コマにおける授業予定	前回の復習(小テスト)、筋の外力の働いた部位による分類、外力の働き方による分類、筋損傷の症状		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	腱の構造と機能について学ぶ	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用した の復習
		各コマにおける授業予定	筋損傷の治癒機序、筋損傷の予後、腱の構造と機能		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	腱の損傷について外力や分類について学ぶ	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用した の復習
		各コマにおける授業予定	前回の復習(小テスト)、腱の性状による分類、腱損傷の程度による分類、腱損傷の部位による分類、外力の働いた部位による分類		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	腱組織の治癒機序について学ぶ。末梢神経の構造について細胞レベルから学ぶ	柔道整復師学理論編改定版6版 解剖学 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用した の復習
		各コマにおける授業予定	腱損傷の症状、腱損傷の治癒機序、末梢神経の構造と機能		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経損傷の外力、原因、程度について学ぶ	柔道整復師学理論編改定版6版 解剖学 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用した の復習
		各コマにおける授業予定	前回の復習(小テスト)、末梢神経損傷を起こす力、神経障害の原因による分類、末梢神経の程度による分類		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経の症状について中枢神経の症状なども比較しながら学ぶ	柔道整復師学理論編改定版6版 解剖学 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用した の復習
		各コマにおける授業予定	末梢神経損傷の外力の働き方による分類、末梢神経の症状		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経の治癒機序についてワラー変性などを交えながら理解する。	柔道整復師学理論編改定版6版 配布資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用した の復習
		各コマにおける授業予定	前回の復習(小テスト)、末梢神経の治癒機序、総復習		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	今まで学んだことの中で特に重要なものをアウトプットする。	柔道整復師学理論編改定版6版 オリジナル資料	授業範囲本読み予習復習 インターネットを利用した の復習
		各コマにおける授業予定	総復習、定期試験		